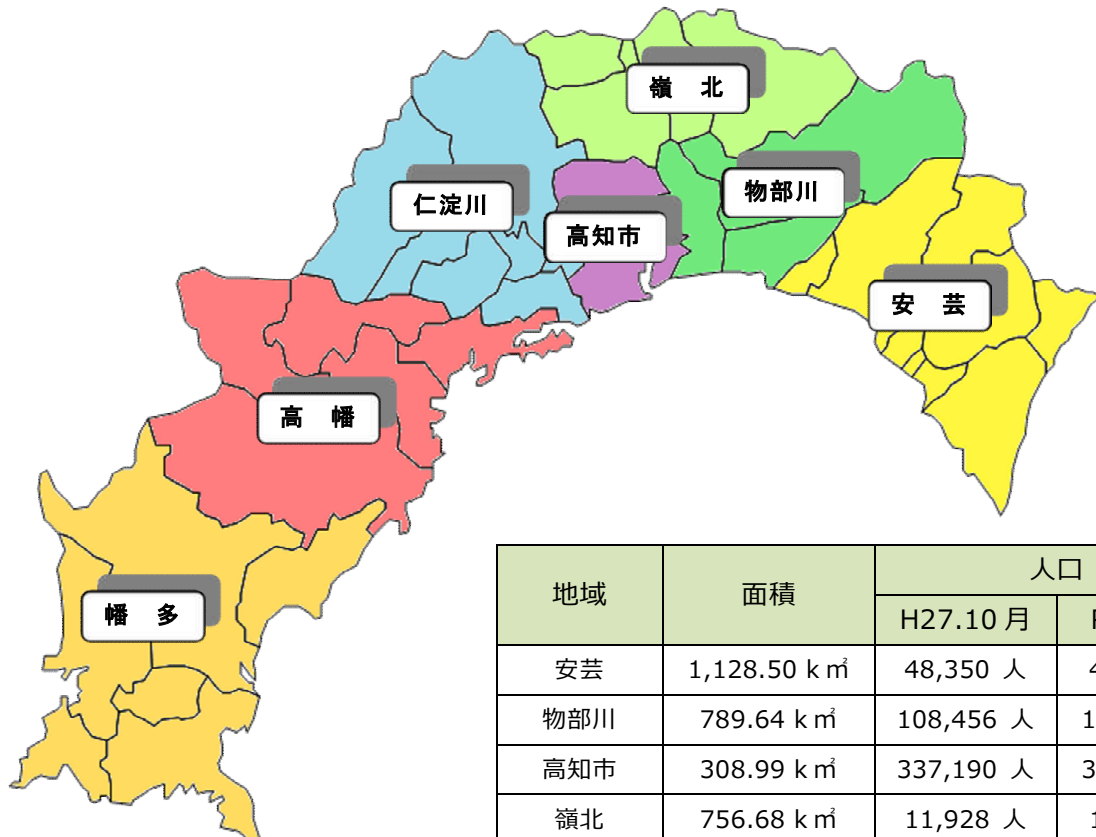


I 地域区分

地域アクションプランは、県内を7つの地域（ブロック）に区分して、それぞれの地域ごとに策定しています。

この7つの地域区分は、地域の文化や特色といった地域性、広域行政圏としての市町村の結びつきやまとまり、また、生活圏や商圈、通学圏などといったこれまで社会的に形成されてきたつながりを重視して区分したものです。

地域名	担当する範囲
安芸地域	9市町村（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）
物部川地域	3市（南国市、香南市、香美市）
高知市地域	1市（高知市）
嶺北地域	4町村（本山町、大豊町、土佐町、大川村）
仁淀川地域	6市町村（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）
高幡地域	5市町（須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町）
幡多地域	6市町村（宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町）



地域	面積	人口	
		H27.10月	R2.10月
安芸	1,128.50 k㎡	48,350 人	43,666 人
物部川	789.64 k㎡	108,456 人	105,384 人
高知市	308.99 k㎡	337,190 人	326,545 人
嶺北	756.68 k㎡	11,928 人	10,632 人
仁淀川	1,153.06 k㎡	79,295 人	74,255 人
高幡	1,405.32 k㎡	56,173 人	50,797 人
幡多	1,561.71 k㎡	86,884 人	80,248 人
合計	7,103.90 k㎡	728,276 人	691,527 人

※人口は、国勢調査による

II 地域産業クラスターの展開

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。

クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、17のプロジェクト（令和5年3月31日現在）を位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域別	クラスタープロジェクトの名称	取り組み概要	関連する地域AP
安芸	1 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト	県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を目指して、新技術の定着や担い手対策を進める。また、ナスの機能性表示を生かした青果販売や新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店等での利用促進に取り組み、クラスターの形成を図る。	No.2
物部川	2 南国市農業クラスタープロジェクト	主要農産物であるニラ、シシトウ、ピーマン類と「還元野菜」の生産拡大を核に、市内の消費拡大（地産地消）や加工品の開発及び観光などとの連携（地産外商）を強化し、「南国野菜」の産業クラスター化を通じて、南国市の特色を生かした「稼げる農業」の実践により、地域活性化に繋げる。	No.2,3,19
	3 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト	日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラの生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクト（「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」）に取り組むとともに、そぐりセンターの活用や、新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店でのメニュー開発等によりクラスターの形成を図る。	No.1,21,23
高知市	4 竹資源活用クラスタープロジェクト	県産竹材を活用した素材生産や製品加工を拡大するとともに、竹材の集荷や一次加工、竹加工品の販売など竹資源を活用した新たな事業を展開し、竹産業の振興と中山間地域における雇用の創出を図る。	No.12
嶺北	5 嶺北畜産クラスタープロジェクト	嶺北地域の特産物である土佐あかうし、大川黒牛、土佐はちきん地鶏のさらなる生産拡大とともに6次産業化による付加価値を高め、増産しながら販路拡大を進める。併せて、雇用の場の創出と観光資源の磨き上げを図る。	No.7,8,18,21
	6 嶺北林業クラスタープロジェクト	県内外の若者が山に関する仕事に就くことができる環境を整備するため、嶺北地域の豊かな森林資源を活用し、安定的な木材生産・供給システムを構築する。	No.9,10,13,15,22,23
	7 本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト	次世代園芸ハウスの整備等による農産物の生産拡大や担い手の確保を行うとともに、交流人口の拡大に向けた取り組み等との連携により、クラスターの形成を図る。	No.1,3,5,18,19
仁淀川	8 日高村トマト産地拡大クラスタープロジェクト	日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点の整備とも併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。	No.3,22
	9 いの町生姜生産・販売拡大クラスタープロジェクト	いの町での生姜生産を核として、生姜の集出荷場整備を契機に、生姜生産農家、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、生産から販売、人材育成までの好循環を生み出す。	No.4, 15
	10 仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業クラスタープロジェクト	カット野菜事業を展開する(株)フードプランを仁淀川町での基幹産業として位置付け、事業の継続的な実施と販売拡大によって雇用の確保や農業者の所得向上につなげる。	No.18

地域別	クラスタープロジェクトの名称	取り組み概要	関連する地域AP
高 幡	11 四万十次世代ハウス団地におけるトマト等栽培の経営強化クラスタープロジェクト	次世代施設園芸団地で栽培されているトマト及びパプリカの病虫害防除対策の確立により生産を安定させるとともに、輸出の検討等、新たな販路の開拓を行い、次世代団地の経営強化を図る。	No.9
	12 四万十のうまい豚クラスタープロジェクト	安心・安全な豚肉を安定的に消費者に提供できる体制を再構築し、関係機関が連携して一体的な取り組みを進め、四万十町産豚肉のブランド価値の向上と関連産業を含めた収益性の向上を目指す。	No.8,24
	13 四万十のうまい栗・芋クラスタープロジェクト	大正・十和地域の栗と芋の加工に携わる事業者が主体となって、JAや地域内の生産者、さらには四万十流域の生産者とも連携し、農業者所得の向上と6次産業化の仕組みを作り、中山間地域の活性化を目指す。	No.6
	14 くるしおミョウガ生産拡大クラスタープロジェクト	JA土佐くろしお管内（須崎市・中土佐町・津野町）で栽培するミョウガの生産拡大を核として、生産に関連する循環型養液システム、ヤシガラ培地活用スキーム、優良種莖の安定供給体制を構築する。また、日本一の「ミョウガ」産地として、一次・二次・三次が連携し、認知度向上に向けた取り組みを推進することにより、ミョウガの消費拡大を目指す。	No.1
幡 多	15 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	宿毛市の主要農産物である文旦等の柑橘類とイチゴの生産拡大を核に、食品加工、観光などと連携して産業クラスター化を図り、地域の活性化を目指す。	No.6
	16 宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト	県内屈指の生産量を誇る宿毛湾の養殖業を核に、生産者はもとより養殖業に直接関わる餌や種苗の販売事業者に加え、流通・加工・販売関連の事業者、さらに飲食や観光など地域の賑わいを支えている事業者などが有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	No.7,8,9,10,16,28,36,38,42
	17 土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト	地域の基幹産業であるメジカ加工業を核に、漁業者から飲食・観光を含めた産業クラスターの川上から川下に至る各業種が有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	No.14,15,16,17,18,36,39,40

Ⅲ 各地域の具体的な取り組み

■ 「各地域の具体的な取り組み」の構成について

(1) 地域の産業を取り巻く状況

地域性や生活圏域、行政サービスの面でのまとまりを考慮して設定した7つの地域について、これまで(平成21～令和4年度)の地域アクションプランの取り組みの成果や、地域の抱える課題を踏まえた産業の状況としてまとめています。

(2) 地域アクションプランの概要

第4期計画 ver. 4 (令和5年3月)に位置付けられた地域アクションプランの個々の取り組みについて、地域全体での産業分野を意識した概要としてまとめています。

(3) 具体的な取り組み

地域アクションプランの取り組みについて、取り組みごとの関係する市町村を表した項目の一覧と地図、あわせて、個別項目の事業主体や事業概要、取り組みの年次計画などを表記しています。